

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-31	令和4年度第2回すみだ食育推進会議		
開催日時	令和5年1月27日(金) 午後1時30分から午後3時まで			
開催場所	墨田区役所8階 82会議室(オンラインによるリモートも併用)			
出席者 (敬称略)	<b>【委員】</b> 佐伯信郎、原寛道、羽原隆、大久保勝久、大西雅之、高橋幸恵、 田口武司、平田慎吾、本多秀行、河上俊郎、栗田陽、 岩瀬均(保健衛生担当次長) <b>【事務局】</b> 保健計画課長、保健計画課保健計画担当主査、主事			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 会議録の公開	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	1人
議 題	1 保健衛生担当次長 あいさつ 2 報告 令和4年度食育推進事業について(進捗報告) (1) 墨田区食育推進計画の改定 (2) 区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業 (3) すみだ食育フェス2022「食育で みんながつくる 笑顔の環(わ)」 (4) 中学3年生の「農業・漁業体験」に関するアンケート調査 (5) 災害時食支援ネットワーク検討会 (6) こども商店街事業 3 議事 (1) 令和5年度食育関連事業(予定) (2) 令和5年度災害時食支援ネットワーク検討会について(案) (3) 「第18回食育推進全国大会 in とやま」の参加について 日程 令和5年6月24日(土)、25日(日) 会場 富山産業展示館(テクノホール) 4 その他(情報交換など)			
配付資料	<配布資料> 資料1 令和4年度 すみだ食育推進会議委員名簿 資料2 区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業 資料3 すみだ食育フェス2022実施報告 資料4 中学3年生の「農業・漁業体験」に関するアンケート調査結果概要 資料5 災害時食支援ネットワーク検討会報告 資料6 災害時の要配慮者食支援マニュアル 資料7 令和4年度「こども商店街」事業 資料8 令和5年度食育関連事業(予定) 資料9 令和5年度「災害時食支援ネットワーク検討会」の概要(案) 資料10 ご意見・ご質問シート 情報提供1 すみだ食育 good ネット「食で!育む」vol.1 情報提供2 食育シンポジウムチラシ			

<p>会 議 録</p>	<p><b>1．開会</b> <b>事務局</b></p> <p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度「第2回すみだ食育推進会議」を開催させていただきます。</p>
	<p>本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。この「すみだ食育推進会議」につきましては、墨田区食育推進計画の理念を踏まえて、墨田区の食育を総合的に推進するために、区長の附属機関として条例により設置しております。また、この会議は、区の「審議会等の会議の公開に関する基準」に基づき、会議の公開及び議事録の公表を行うことになっております。本日は、1名の方が傍聴されることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは初めに、保健衛生担当次長の岩瀬からご挨拶申し上げます。</p> <p><b>岩瀬次長</b></p> <p>予算編成も順調に進みまして、1月30日にプレス発表の予定です。本日、東京都も予算を発表し、来年度の羅針盤も出来てきている印象です。食育に関する予算も昨年以上に獲得できており、少しずつでも進歩させていきたいと考えています。一方で、墨田区保健所の状況としては、新型コロナウイルスが流行して3年以上経ち、大型連休明けから5類に移行予定です。医療体制なども徐々に元に戻していく状況となりましたが、この3年間は食育にとっても非常に厳しい状況でした。イベント実施や、町に出てこども商店街の活動を行うことも難しい状況でしたが、元の元気な食育に戻していける環境が整ってきているかと思えます。新年度に向けて本日お話する中で、委員の皆さんが気になること等ありましたらご発言をお願い致します。忌憚のないご意見をいただければと思います。</p> <p><b>事務局</b></p> <p>本日は大西委員、平田委員がオンラインでのご参加となります。平田委員は10分ほど遅れて入室予定です。また、友成委員、米倉委員はお仕事のご都合で欠席です。羽原委員は診療時間の関係で、午後2時30分頃までのご出席と伺っております。お時間になりましたら、議事の途中でも結構ですので、ご退席ください。</p> <p><b>事務局</b></p> <p>報告及び議事に入らせていただきます。それではここからの進行は、佐伯委員長にお願い致します。</p> <p><b>2．報告</b></p> <p>事務局より今年度事業進捗報告について、資料2～7に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)墨田区食育推進計画の改定</li> <li>(2)区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業</li> <li>(3)すみだ食育フェス2022「食育で みんながつくる 笑顔の環(わ)」</li> <li>(4)中学3年生の「農業・漁業体験」に関するアンケート調査</li> <li>(5)災害時食支援ネットワーク検討会</li> <li>(6)こども商店街事業</li> </ul> <p><u>報告を受けて、各委員よりご意見、ご感想をお伺いした。</u></p>

### 3 議事

事務局より資料 8、9 に基づき説明

(1)令和 5 年度食育関連事業（予定）

ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

(2)令和 5 年度災害時食支援ネットワーク検討会について（案）

ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

(3)「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」の参加について

ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

-----以下、意見交換の概要-----

#### 佐伯委員長

皆様にご協力いただき、議事を進行してまいります。本会議は「委員の過半数の出席において開催」となり、議事承認については「出席委員の過半数」の賛成をもって承認となります。本日は委員の過半数のご出席をいただいております。まず、事務局から報告してもらい、その後、委員の皆様の質疑・ご意見をお伺いしたいと思います。

**次第 2「報告」**の (1)の「墨田区食育推進計画の改定」、(2)の「区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業」についてまとめて報告してもらい、委員のみなさまの質疑・ご意見をお伺いしたいと思います。それでは、事務局から報告してください。

#### 事務局

今年度の食育推進事業の御報告をさせていただきます。昨年 6 月に第 4 次食育推進計画を策定しました。策定に当たっては委員の皆様にも多大なご協力をいただき、ありがとうございました。出来上がった計画書とその概要版をもって、ご報告とさせていただきます。

続いて、今年度の区とすみだ食育 good ネットとの食育推進事業について、資料 2 をご参照ください。今回から記載方法を変更しまして、主体的に実施しているものは、参加のものは としています。今年度の特長を中心にご報告しますと、コロナが落ち着き、イベントや事業が復活してきました。6 月には食育推進全国大会が 3 年ぶりにリアル開催となり、区とすみだ食育 good ネットで隣土のブースで出展致しました。現場では様々な自治体や団体の皆様と情報交換等致しました。東京の自治体としては唯一の出展ということもあってか、展示や資料配布を通して、食育事業はもちろん、すみだというまちへ興味を持っていただいた方もたくさんいらっしゃいました。また、10 月には食育フェスのイベントを実施し、地域イベント等を復活することができました。こども商店街事業も令和元年度を最後に休止していましたが、今年度やり方を変えて復活することができました。この 2 事業については、後程詳しくご報告致します。もう一つ大きいところでは、区の文化芸術振興課がすみだ食育 good ネットとともに進めている特別区全国連携プロジェクトの「『芽』から始める『すみとかプロジェクト』」についても、今年度は色々関わらせていただくようになりました。このプロジェクトは、特別区と全国の各地域がともに発展・成長し、共存・共栄を図ることを目的に様々な分野で交流するものですが、墨田区では、「食」をテーマに北海道十勝地域と交流しています。このうち、芽室町というところと協働で様々な

食育に関する取組を行っており、今年度は、区内の児童館と芽室町との「縁を結ぶ」事業を展開しています。12月10日には、食べる機能の大切さを共有する取組として、推進会議の委員でもある大久保先生に、歯科医師として児童館の指導者等を対象に子どもの嚥下・誤嚥に関するご講演をいただいています。

#### **佐伯委員長**

報告を受けてご意見、ご感想をお伺いしたいと思います。

大久保委員はすみだ食育 good ネットの会員として、「『芽』から始める『すみとかプロジェクト』」に関わっていらっしゃいますし、向島歯科医師会として高齢者口腔ケア講習会を実施されていらっしゃいますが、何か補足やご意見・ご感想等ございますか。

#### **大久保委員**

介護予防事業は本所歯科医師会でも行っておりますが、向島歯科医師会では、すみだ食育 good ネットの方々のご協力を得て、パタカラ体操などを行っています。先ほどご紹介いただいた「特別区全国連携プロジェクト」では小児の食べ方についても講演を実施しております。乳歯と永久歯の生え変わりで一時期、食べる機能が落ちることがあります。その時に誤嚥や窒息事故が起きやすいことを、小さい時期から知っていることは高齢になった時まで生かせると考えています。

#### **佐伯委員長**

ありがとうございます。お時間もありますので、事務局より(3)すみだ食育フェス2022、(4)中学3年生の「農業・漁業体験」に関するアンケート調査について報告をお願いします。

#### **事務局**

今年度の食育フェスは、例年6月に開催していたところ、計画書の改定が6月ということもあり、時期をずらして秋に開催しました。コロナ前のような運営委員会方式では実施ができなかったのですが、すみだ食育 good ネットの皆さんに「協力」という形で入っていただき、情報交換や御意見を伺いながら開催しました。区役所での展示・体験以外にも、講演会や地域イベントを実施しました。展示・体験の参加団体・テーマは裏面の通りで、一部重複もありますが、30団体に出展いただきました。保健計画課では新たな計画について紹介をするパネルを展示したほか、すみだ食育 good ネットの皆さんと一緒に、計画に記載している「持続可能な推進体制」についてご紹介するパネルを作成・展示致しました。展示・体験コーナーについては、来場者にアンケートを取らせていただいたのですが、保育園や小学校・中学校の給食のメニューに関する展示や、食品ロスやフードパントリーに関する展示、また、野菜摂取度の測定の体験に関心を寄せる方が多くいらっしゃいました。特に野菜摂取度の測定については、これを目的に来場されたという方もいらっしゃったのですが、食育の展示も一緒に見ていただけたことで、これまで食育に興味を持っていなかった方々にもPRができたのではないかと考えております。講演会については、保健センターと保健計画課が共催で、和食の特徴や歴史、文化などについて向島の料亭美家古の当主の方にご講演いただきました。地域イベントについては、今回初めて千葉大学に御参加いただき、墨田キャンパス内で地域と連携して実施している「植物工場」のワークショップ

を開催していただきました。参加者には、キャンパス内で水耕栽培しているハーブの水やりと収穫、キラキラ橘商店街への配達という一連の流れを体験していただきました。

すみだ青空市ヤッチャバは、本日委員としてご出席いただいている本多さんにご協力をいただき、実現したものです。もともと毎週土曜日にイーストコア曳舟駅前広場で開催しているヤッチャバについて、食フェスとコラボということで、チラシや区報、ホームページでPRさせていただきました。また、「すみまめカフェ朝市」は、災害時食支援ネットワーク検討会の委員である小谷さんが運営に関わっていらっしゃるご縁で実現したものです。毎月最終日曜日にキラキラ橘商店街で朝市を開催しているのですが、今回食フェスの期間に重なったこともあり、こちらもヤッチャバ同様コラボしていただき、チラシや区報、ホームページ等でPRをさせていただきました。

また、以前は報告会という形で参加団体に集まっていただき、共有をさせていただいていたのですが、コロナ禍ということもあり、今回は、イベントへ出展いただいた団体の皆さまにアンケート方式でご意見を伺わせていただきました。「団体同士の交流ができて良かった」といったご意見や「自分たちの取組について情報発信することができた」、また、「他団体の取組について知ることができて良かった」といったご意見を頂戴することができ、オンラインではなく、リアルの場で交流することの大切さを改めて感じました。

続いて、中学3年生の農業・漁業体験に関するアンケート調査の報告についてです。お手元の資料4をご覧ください。このアンケートは、食育推進計画において、「学校の体験以外で農業・漁業体験をした中学生の割合」を評価指標としており、毎年中学3年生を対象に実施しているものになります。昨年秋に実施をし、このたび結果がまとまりましたので、簡単にご報告致します。右半分のグラフ部分をご覧くださいのですが、学校の活動以外で農業・漁業体験をした生徒の割合は、前回の集計・分析を行った令和元年度の結果と比べると、農業で25%、漁業で11%ほど増加しました。学校の体験と合わせた数値は農業だと8割を超え、多くの子どもたちが農地がない墨田区の中でも何らかの栽培体験等をしていることが分かりました。漁業に関しては、川や湖、海などの場所に行かなければできないということもあり、農業よりも数は少なくなってしまうのですが、前回と比べると増加しています。今回大きく増加した理由として、アンケート用紙の記載方法の変更の影響が大きいのではないかと推測をしております。昨年アンケートを実施するに当たり、過去の回答等を確認したのですが、質問がうまくとらえられていないと思われるものが少々見受けられたため、今回アンケートの記載を少し変えています。実際のアンケート用紙を後ろにつけていますので、ご覧ください。元々のアンケート用紙は、太字や下線等がなく、メリハリがない状態だったので、過去の回答で子どもたちが誤解をして回答をしていた部分について、下線や太字を入れさせていただきました。ただ、純粹にこの数年で農業・漁業体験をする子どもたちが増えた可能性もありますので、今後何年間か統計を取って変化を見ていきたいと思っています。

#### **佐伯委員長**

報告を受けてご意見、ご感想をお伺いしたいと思います。

原委員は、今年度、すみだ食育フェスに千葉大学として初めてご参加いただいたよ

うですが、ご感想等ありましたら、お願いします。

#### **原委員**

今年初めて関わらせていただきました。千葉大学が墨田サテライトキャンパスを作った意図というものに、「地域と共に新しいことに挑戦する」ことがあります。挑戦=実践であったり、研究であったりするわけですが、そのうちの一つに、千葉大学には園芸学部があるので、そこで研究している「植物工場」という技術をどう地域に広げていくか、ということがありました。ただ、大学の中で植物工場そのものを推進するというよりは、植物工場によってどんな価値が得られるか、「命あるものを食べるということを身近に体験できるようにすること」がこの取組の価値だと考えています。昨年10月から植物工場の取組を進めてきたものの、なかなか地域とスムーズにつながっていくことが難しい状況でした。しかし、このフェスにお声がけいただいたことで、たくさんの地域の方に参加していただくことができました。イベントということもあり、すべてを体験いただくことは難しいと思いましたが、普段食べているものが育つ存在であって、商品である以前に生き物であるということを理解してもらえないか、ということを考えました。子どもたちも動物だと生き物ということを理解しやすいと思いますが、植物そのものに対する興味はそれほどないのでは、と思っていました。しかし、関わっていた学生も驚くほど子どもたちも意欲的に取り組んでいて、特にお店に収穫した植物を配る段階で、子どもたちの満足度も高かったと聞いています。とても良い取組になったと思っています。イベント後も大学で週1回続けていますが、参加者もいくらか増えてきています。1つの団体がやっているということではなく、こうしたネットワークに関わることによって、その意味が広がっていく、ということがあったのではないかと感じました。ネットワークを作っていくという意味では、こうした組織体としての価値が認知されたのではないかと感じました。

#### **佐伯委員長**

これからアフターコロナということで、このような活動がますます盛んになるようによろしくお願い致します。

大西委員も今年度すみだ食育フェスに本所歯科医師会として、出展されたそうですが、ご感想等ありましたらお願いします。

#### **大西委員**

今回は初参加ということで、どうしたら良いのか分からないことも多かったのですが、区の皆さんにもご支援いただき、ポスターという形で参加しました。本所歯科医師会としては、すべての栄養は口腔からできていると考えています。コロナ禍でマスク社会になり、笑うことや大きくお口を開けて運動したり、歌ったりすることがない中で、口腔機能の低下が認められているのではないかと考えています。今後は、未来を担う小児にテーマを当てて、何ができるのか考えていきたいと思っています。来年度の展示も、そういったテーマで取り組めたらと考えております。

#### **佐伯委員長**

高橋委員も今年度すみだ食育フェスに地域栄養ネットワークとして出展されたようですが、ご感想等ありましたらお願いします。

### 高橋委員

すみだ地域栄養ネットワークは、地域の病院と施設の栄養士と調理師の集まりです。その団体で食育について話し合うことができたのは良い機会でした。また、フェスの見学をしながら、会場にいた方と話すと、「何か自分ができることがあるのでは」とおっしゃっている方がいらっしゃいました。そういうものを探すには良い場所だと思いました。チラシもたくさん用意されていたので、私も保健計画課の野菜大好き！大作戦や、歯科医師会による口腔ケアの講習会のチラシなどいただき、病院の栄養相談をする部屋に貼らせてもらいました。イベント会場はとてにぎわっていて、業務でも参考にするところがあったように感じます。

### 佐伯委員長

田口委員は青少年育成委員として、地域の子どもたちに関わっていらっしゃるかと思いますが、子どもたちの農業・漁業体験について何か感じていらっしゃるがあればお願いします。

### 田口委員

農業・漁業体験に関するアンケートで2番以下のそれぞれの結果も知りたいと思うのですが、教えてもらうことは可能ですか。この結果は他にも活用ができるように思うので、そうしてもらえるとありがたいです。

### 事務局

ホームページにも結果をまとめたものを掲載する予定です。中学3年生全体の数値としては、お知らせすることはできますし、学校にもつい先日ご報告したところです。

### 佐伯委員長

ありがとうございます。引き続き、事務局より(5)災害時食支援ネットワーク検討会、(6)こども商店街事業について報告をお願いします。

### 事務局

今年度の災害時食支援ネットワーク検討会の報告です。資料5をご覧ください。食育推進計画の3つのリーディングプロジェクトの1つとして、乳幼児や高齢者、持病のある方などの災害時に食への配慮が必要な方への食支援を着実にを行うために、「災害時食支援ネットワークの構築」を掲げています。この検討会では、関係者で集まり、平時から災害時の食支援について議論・情報共有をしています。

今年度は8月と12月の2回開催をしており、資料6の「災害時の要配慮者食支援マニュアル」を策定するとともに、アクションカードの作成に向けた検討を行いました。災害時は医師や歯科医師、栄養士等の専門職が居ない状況でしばらくの間避難所での対応を行わなければならない可能性が非常に高く、そうした状況で適切な食支援が行えるようにマニュアルとしてまとめました。防災を担当する部署にも協力してもらい、内容の確認をしてもらいましたので、今後、関係者の皆様に共有をさせていただきたいと思っています。ただ、このマニュアルについては、60ページを超えるボリュームになっていて、災害時に確認ができるのか、という懸念があり、災害発生時に誰もが活動できるようにするための指示書「アクションカード」をまずは作る必要があるのでは、ということで、その検討もしているところです。今後は、マニュアルやアクションカードを使った実践等も行っていきたいと考えています。

続いて、こども商店街事業についてです。資料7をご覧ください。こども商店街は、「児童館」と「地域」、「こども」と「地域」を結ぶ取組で、こどもたちが地域のお店とつながり「学び・伝え・体験する」食育プログラムとなっています。コロナ前は、児童館に近隣のお店と交流していただき、そのお店のことを学んだあと、実際にそのお店の商品の販売を行っていました。しかし、コロナの影響で2年間中止となっており、今年度は資料7のやり方に変えて実施をしています。近隣のお店と交流・事前学習するところまでは一緒ですが、その後は販売体験ではなく、そのお店の魅力について伝える文章を子どもたちに作ってもらい、PR動画という形で伝えてもらうこととしています。また、一部の児童館には、芽室町の生産者ともオンライン上で交流してもらい、その内容についても動画に反映する予定としています。3月中の完成を目指していますので、完成後、区ホームページで掲載を予定しています。

#### **佐伯委員長**

報告を受けてご意見、ご感想をお伺いしたいと思います。

河上委員は災害時食支援ネットワーク検討会の座長をされていますが、何か補足等あればお願いします。

#### **河上委員**

事務局が防災課に働きかけたことで今年度は防災課も参加しており、今までとは違った動きが見られました。アレルギーのことが話題に挙がりましたが、備蓄物資についても防災課として素早く対応していただいていることがわかりました。このカードについても、積極的に勉強していきたいということなので、良い流れになっていると思います。

#### **佐伯委員長**

平田委員はこども商店街事業にご協力いただいています。つい先日子どもたちと交流されたそうですが、ご感想等伺えますか？

#### **平田委員**

対面でのこども商店街ができないため、動画を作成するということでしたが、1月17日に八広児童館の子どもたちに取材をしてもらいました。最初にキラキラ橋商店街のお店を見学してもらい、その後に工場に来てもらって、豆腐製造のDVDなども見てもらいながら説明をしました。豆乳で実際に豆腐を作る体験と、試食もしました。感想を聞きながら事前学習として質疑応答をし、取材は正味1時間程度でした。子どもたちもしっかりと事前に調べてきたみたいで、「にがりとは豆乳の何%くらい入れますか」などという質問もありました。今までのこども商店街は記録に残ることはなかったですが、今回の動画撮影は記録に残るし、子どもの思い出にも記念にもなるし、すみだの財産にもなると思います。

また、感想としては、豆腐一丁を作るにしても、材料は大豆だということや、にがりは海水から作るといったようなことをもう少し深掘りして勉強していけば、環境問題や農業、食料自給率についても、仕事や生活を背景に学べる素材となるのではないかと思います。つまり、欲を言えば、こども商店街ももっと大きなテーマを設けてそこを学ぶ機会としても良いのではと思いました。

まずはこれからできる動画を楽しみにしています。

### 佐伯委員長

かめばんでも 2 月にこども商店街の事前学習と撮影が予定されています。特別区全国連携プロジェクトでも芽室町と墨田区がつながっているので、芽室町の農家から野菜を送ってもらい、それを使って子どもたちにも紹介する予定です。こちらも動画ができましたら、皆さんにもご覧いただければと思います。

### 佐伯委員長

続いて「次第の 3 議事」に入らせていただきます。議事については出席委員の過半数の賛成をもって承認となります。事務局から説明していただき、委員のみなさまの質疑・ご意見をお伺いしたいと思います。では、議題 1「令和 5 年度食育関連事業」、議題 2「令和 5 年度災害時食支援ネットワーク検討会」について説明してください。

### 事務局

来年度の事業予定については、予算が成立前のため現時点での予定としてご理解いただければと思います。資料 8 の 1~4 については、今年度も実施しているものとなり、次年度も引き続き実施を予定しているものになります。1 のすみだ食育フェスについては、6 月 15 日（木）~18 日（日）に開催したいと考えています。実施内容等については、今後関連団体の皆さまと調整の上、決定していく予定です。2 のこども商店街についても、実施時期等については、改めて児童館と調整し、実施予定です。3 の農業体験・漁業体験のアンケート調査は、今年度同様、中学 3 年生を対象に秋頃実施予定です。4 の災害時食支援ネットワークの構築については、災害時食支援ネットワーク検討会を 8 月と 12 月に開催したいと考えております。詳細については、資料 9 をご覧ください。この検討会は、食育推進会議の部会として位置づけられていますので、皆様に次年度の体制及び内容についてご承認いただければと思います。委員は 1 年任期のため、順次各団体に推薦依頼を行っています。なお、マニュアルの中でも、お薬手帳や服薬している場合の対応などについて触れていますので、来年度からは外部関係者として、新たに墨田区薬剤師会の代表にも入っていただきたいと考えています。前半でアクションカードの検討を、後半でアクションカードとマニュアルを活用しての実践を行っていきたいと考えております。

続きまして、資料 8 の 5 番以下のご説明です。こちらについては、今年度は実施しておらず、来年度実施を予定しているものです。すみだ食育推進リーダー育成講習会は、すみだの食育を担う人材を育成するために実施しているもので、直近では令和元年度に 5 期生の育成講習会を実施しました。9 月以降に全 7 回程度で実施していき、講師としては様々な食育関係団体、関係者の皆さまにご協力をいただきたいと思います。順次依頼をしていく予定です。

続いて、墨田区食育推進計画の定性評価の仕組みづくりについてです。計画上は、「食育」の実践活動に着目し、「食」を通して生まれた「行動の変化」を明確化することで、定性評価を行うこととしています。この定性評価について、具体的な方法や手法の検討を行う必要があり、次年度早々にそのための体制づくりを行っていきたいと考えています。定性評価については、評価方針や方法について、きちんと事前に決めておくことが重要になるかと思えます。また、この部分については、本日ご欠席の米倉委員と会議前に意見交換をさせていただきましたので、共有させていただきます。

米倉委員からは、「定性評価を行うために大切な視点として、主観的結果と捉えられがちな定性評価については、結論を導く方法論や手法として、できるだけ客観的な手法で行っていく必要があること、また、結果だけでなく、結果に至る道筋やその合意形成についても丁寧に行うことが大切なので、経緯等を含めて何らかの形で残すことを前提に計画することが重要ではないか」とのご意見をいただきました。事務局でもこのご意見を踏まえて、早急に体制作りを進めていただきたいと考えております。

最後に、食育ホームページの作成についてです。現在、区のホームページには、計画書や会議の議事録は掲載しているのですが、すみだの食育についてご紹介するページが存在していないため、順次作成をしていきたいと考えています。

#### **佐伯委員長**

「令和5年度食育関連事業」について、ご意見のある方は挙手をお願い致します。

#### **栗田委員**

7の食育ホームページの作成についてです。これまで作成されていないことに驚いています。区のホームページで食育を検索すると、「食育シンポジウムの開催」、「食育推進計画の策定」、この会議の議事録「食育推進会議議事録」がヒットしましたが、これらはイベント情報や区政情報として掲載されています。つまり食育という見出し、項目がない状態です。因みに食に関しては、「食の衛生」という見出しがあるのみです。以前この会議でも申し上げましたが、食育の取組は区民の参加・協力が重要なものであり、そのためにも区民に食育の重要性を理解してもらうことが不可欠です。こうした観点から、区としての食育についての情報発信を行うことは極めて重要だと思います。昨年策定された「墨田区食育推進計画」でも、第4章や6章で、「情報発信に努めること」としています。そこで墨田区の食育に関するホームページを速やかに作成し、充実した内容の情報発信を行うようにしていただきたいと思います。

#### **佐伯委員長**

すみだの食育は先進的な活動と認識しておりますので、ぜひ区のホームページをしっかり検討していただければ、と思います。よろしく申し上げます。

#### **事務局**

栗田委員からご指摘いただいたホームページについては、区議会からも同じような指摘を受けているところなので、今回、本格的に進めていきたいと思っています。

#### **佐伯委員長**

羽原委員は途中退席と伺っていますので、議事についてここまでで何かご意見等あればお願いします。

#### **羽原委員**

途中退席で申し訳ありません。墨田区医師会の代表で出席しておりますが、すみだの食育を推進するに当たって、多くの区民の参加が必要だと思っています。コロナで色々な状況になりましたが、子どもたちにアンケートを取って食育の意識や関心を高めることも必要ですし、年配の方が増えていく時代なので、メタボリックシンドローム、ロコモティブ、フレイルの問題を少しずつクリアにしていくためにも、食育推進リーダーの育成等を通して食育の活動が広がって欲しいと思っています。災害支援のネットワークもそうだと思いますが、コロナで重症になる方は、身体に問題を

お持ちの方なので、そういう視点でも食育が活躍できるのではないかと期待しております。

**佐伯委員長**

ご意見ありがとうございました。他にご意見ございますか。

**田口委員**

「子ども商店街」と「災害時食支援ネットワーク」について、意見があります。子ども商店街の PR 動画も意味はあると思うのですが、体験という意味では、見ている子どもは体験そのものをしていないわけではないです。私も地域で活動していますが、できれば体験をする形がよいので、例えばヤッチャバなどと連携して可能な範囲でも実際に体験するということがあるといいと思いました。

あと、災害時食支援ネットワークについては、マニュアルも今回読んで初めて知ったことも多かったです。今後の活用の仕方として、町会、自治会にも防災関連に携わっている人たちにも伝えていければ良いと思います。すべてを理解するのは難しいかもしれないし、アクションカードも作成しているということでしたが、マニュアルそのものは素晴らしいので、学校単位で設けられている防災の組織も活用していくことを考えていくと良いと思います。

**事務局**

子ども商店街については、今後、コロナの位置づけの変更に伴って、ご指摘いただいた部分については考えさせていただきたいと思います。災害時食支援ネットワークについても、そのような方向で考えていきたいと思っています。

**佐伯委員長**

他にご意見ある方はいらっしゃいますか。

**本多委員**

「評価の仕組み作り」に関連することで、2点あります。

「農業・漁業体験のアンケート」結果を見ると、すでに体験している子が農業で8割、漁業で6割いる状況となっています。計画の指標にも入っているのですがすぐに内容を変えることは難しいと思いますが、体験をする・しないの先に、体験をした上で「もっと直接的に生産者とコミュニケーションをとってみたいと思った」であったり、平田委員からも話があったように「もっと詳しい話を聞いてみたい」だったり、「体験を通した後の意識変化について問う設問」をできれば追加して、そこを評価の中に組み込んでいけると良いと思います。アウトプットとアウトカムのように、「体験の次を評価指標に入れていくこと」を、次の食育推進計画に入れられるよう整えていくと良いのではないのでしょうか。以上が細かいところですが、1点目です。

2点目が全体的な話になりますが、米倉委員からも話があった通り、定性評価は主観的なものになってしまうと理解がされないことになってしまいます。客観的に行うための方法はいくつかありますが、ロジックモデルのような評価に向けたストーリーを事前に作って、評価の軸がある状況で、体系化されたものに対して評価のためのワークショップを実施していくと良いと思います。仕組み作りはとても苦労すると思いますが、次の計画を策定するまでにその構造を形にして、(計画最終年度である)8年

度までに1回だけ行ってもしようがないので、2回は定性評価をして、次の計画の時にはまた新しい評価について考えるということをエネルギーをかけてやってもらおうと思います。できることがあればお手伝いしますし、田口委員が言っていたように、子どもたちにヤッチャバに来てもらう、というようなことからでも良いと思います。

#### **事務局**

1点目の「アンケート」については、ご指摘のあったところを取り入れていきたいと思われました。また、2点目の「定性評価の仕組み作り」については、ご支援をいただけるというようなお言葉もありましたので、後日ご相談させていただきたいと思えます。定性評価については、2年目と4年目（令和5年度・7年度）に実施をし、その結果を受けて次回の計画改定の時期（令和8年度）になるので、そのタイミングで考えています。来年度早々に取り組む予定です。

#### **本多委員**

補足ですが、行政でもEBPM（エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング/証拠に基づく政策立案）で政策を考えていくことが言われていますが、それをもって新しい施策の柱ができるということまでできると良いなと思っています。

#### **佐伯委員長**

ありがとうございます。原委員は、子ども環境デザインについて研究されているそうですが、ご自身の活動の中で、食育の事業で新たな展開等ができそうなもの等があるようでしたら、ご意見をいただけますか。

#### **原副委員長**

先ほどは、大学で水耕栽培をしていることを伝えましたが、他にも、キャンパス1階で子どもが自由に遊べるエリアを作っています。今は月1回そういう活動をしていますが、昨年夏には、1週間を通して、子どもたちが自由に遊べる場を作ってみました。小学校高学年くらいになると、自分が楽しみたいから遊ぶというだけでなく、誰かのために役に立ちたいという考えが出てきます。また、サービスやゲームを考えることも、遊びになります。本来、「生きていくこと」と「働くこと」は一緒であるはずですが、今の世の中は、サービスの送り手と受け手のように分かれた形になっています。ですが、子どもの段階から、誰かのために何かするということが働く意味の1つであることを、遊びながら体験できたら良いかな、と思い、取組を実施しています。

先ほど、こども商店街の話が出て、そこは直接的にはつながらないかもしれませんが、商店街の部分で重複する部分があると思います。来年度すぐということではありませんが、こども商店街の意味合いも拡充すると、先ほど平田委員から「テーマをどう設定するか」という話もありました。田口委員からも動画でなく、体験があっても良いのではという話がありました。「作って食べる」ということにももう少し意味を加えて、実施していけると良いと思いました。

#### **佐伯委員長**

小学校5年生から、誰かのためにというのはすごいですね。体験することは大きな

ことですし、コロナも落ち着いてくる状況であれば、ぜひ活発に展開してもらえると良いですね。よろしく願いいたします。では、「令和 5 年度食育関連事業案」にご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

「出席委員の過半数」の賛成をもって承認となりました。

では、次の議題に移ります。令和 5 年度災害時食支援ネットワーク検討会についてご意見のある方は挙手をお願いします。

#### **岩瀬委員**

意見というほどではないのですが、災害が起こって 72 時間は、保健所の職員は緊急医療救護所というものを立ち上げなければなりません。そのため、避難所となっている体育館に行けない状況となります。72 時間が過ぎると、専門職が各避難所を巡回することとなっています。つまり、この間、職員は動けないので、住民の方に（このマニュアルを）活用してもらいたいと考えています。

食支援のマニュアルがブラッシュアップできてきて、防災課も今年度入ってくれたこともあり、実践的に使うためのスタートラインに立ったと思います。地域の方々にマニュアルの周知と実践をしてもらう機会を作っていきたいと考えています。

#### **佐伯委員長**

ありがとうございます。社会福祉協議会も災害時には様々な活動をされるかと思いますが、何かご意見等あればお願いします。

#### **栗田委員**

社会福祉協議会は大規模災害が起きて墨田区が被災した場合に、区の要請に基づいて災害ボランティアセンターを設置して運営する役目を担っています。

首都直下地震では、橋梁の落下や道路の寸断などが想定されているほか、コロナにより被災地外部からの応援が難しい場合もあると思われます。そのような状況の中で、地域の方々にいかに協力してもらえるかが大きな課題となっています。私たちもそれに備えて、ネットワークを組みながら強化して災害ボランティアセンターを運営していく必要があり、日頃から取組を行っています。また、私も先ほど発言しようかとも思いましたが、災害時食支援マニュアルは網羅的に色々なことが盛り込まれています。広く共有していきたいし、多くの皆さんにご理解いただきたいと思いました。

#### **本多委員**

少し脇道に反れるかもしれませんが、災害時食支援マニュアルがあり、アクションカードも作成を進めるという流れは良いと思いました。墨田区にはクリエイターがたくさん居ますし、町工場の PR 等を一緒に行っていると聞いています。食育もそういう方たちを巻き込んで、アクションカードを面白く知ってもらうような取組もできるのかな、と思いました。

#### **佐伯委員長**

ありがとうございます。では、「令和 5 年度災害時食支援ネットワーク検討会」についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

「出席委員の過半数」の賛成をもって承認となりました。

では、最後に議題 3「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」の参加について事務局より説明してください。

### 事務局

今年の食育推進全国大会は、6月24日、25日の2日間富山県の富山産業展示館で開催予定です。現在、「墨田区」としてエントリー中で、2月中には出展の可否の連絡が来る予定となっています。毎年、すみだ食育 good ネットと隣同士のブースで出展し、一緒に「すみだの食育」についてPRをさせていただいています。昨年の全国大会の際には、墨田区食育推進計画の改定直前だったため、今年の大会では、展示や計画書の配布等を通じて、新たな計画のPRを行いたいと考えております。

### 佐伯委員長

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

全国大会には、すみだ食育 good ネットでも話し合いをして、出展の申込をしました。区のブースと隣り合わせにし、一緒に参加してすみだの食育をPRしていきたいと考えています。では、「第18回食育推進全国大会 in とやま」の参加についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

「出席委員の過半数」の賛成をもって承認しました。

事務局は、委員の皆様からいただいた意見を踏まえて、事業や計画策定を進めていくようお願いいたします。委員の皆様には、今後の事業等の準備についてご協力いただきますようお願いいたします。議事については以上になります。

最後に「4. その他」です。委員の皆様から何か情報提供などがございましたら、お願いいたします。

### 田口委員

今日の午前中に教育委員会が行っている青少年問題協議会があり、そこでも発言させてもらいましたが、夏休みなどの長期休業中に小中学生がどういう食事をしているか、教育委員会として把握しているか質問したところ、福祉関係の部署で調査をしていると思うという回答でした。家庭問題ではあるとは思いますが、学力や体力を考えれば、大切な問題ではないかと感じます。保健計画課でも長期休暇期間の食事の問題について考えてもらえると良いと思っています。

### 事務局

ご指摘ありがとうございます。私が把握しているところでは、5~6年前に子どもの貧困実態調査をしましたが、来年度に福祉保健部で、これを再度行うと聞いています。田口委員がおっしゃっている食事の状況を含めて質問をしています。単独ではできないため、教育委員会を通じて連携して実施しますので、保健計画課としても強い関心を持っています。

### 佐伯委員長

他にございますか。では私の方から、情報提供として配布したすみだ食育 good ネットの「食で！育む」について報告いたします。2年間に渡り、地域、児童館、区長、企業、地域の方へのインタビューを行い、子どもたちの成長が明らかになりました。この冊子を通して、すみだ食育 good ネットとして良かったことは、様々な取組を手段にして信頼関係を築きながら仲間を増やし、つながりをつむぎ、ネットワークを育んできました。そのプロセスについて、時として手間のかかることは無駄や非効率だと言われることもあるかもしれませんが、その度に自問自答も繰り返しながら、プロセスは大切だと考えて続けてきました。このプロセスを通して取り組んできた環境の中

で子どもたちが夢に向かって歩んでいることに会い、手間をかけることの本当の意味を実感できたことは活動する上での自信となっています。

この冊子の完成を山本区長に報告させてもらった際には、「第10回食育推進全国大会 in すみだ 2015」を見て、この思いを区政の柱にしたいと思った、ともおしゃっていただきました。

また、大変だったこととしては、すみだの食育のあゆみを作成するに当たり、墨田区の歩みを拾い出すのにたくさんの時間がかかったということです。区と一緒に作成できると良かったと感じたと聞いています。

本多委員も作成に関わっていましたが、何かご意見ありますか。

#### **本多委員**

編集という立場に関わりましたが、ものすごい情報量でした。ページの制限もあったので、都度都度、話し合いながらまとめていきました。これでも大切なことが抜けたりするかもしれません。また、この先につながる何かが出てくるかもしれません。改めて区の方でも振り返りながら読んでもらって、「これが大切なんじゃないか」ということがあったら、つぶさに振り返りながら、今後進むときに肉付けができれば良いと思っています。

#### **佐伯委員長**

他には、今年度の大きな取組としては、「人づくりセミナー」をすみだの食育のルーツとこだわりを明確にして、今後の取組に生かすために実施しました。一部の区の職員や民間団体から、協働の実践知を学びたいという勉強会の要望があったり、新たな若者の協力者の力が運営につながったり、という結果もありました。また、特別区全国連携プロジェクトのすみとかプロジェクトについては、文化芸術振興の補助金で実施し、4年間の集大成の年でした。今年度からは保健計画課にも一部関わってもらい、芽室町と墨田区のコラボで新しい取組を模索しているところです。芽室町の農業者とつながった取組は確実に現在進んでおります。

特に今年度は、芽室町の歯科医師会ともつながり、向島歯科医師会の久保先生に講師をお願いし、子どもの窒息事故予防を児童館やコミュニティ会館と一緒に取り組む企画が動き出しました。

久保委員も何かご意見ありますか。

#### **久保委員**

これまで窒息事故の防止については、高齢者をターゲットに進めていました。しかし、子どもの頃から摂食嚥下を知っておくことで窒息事故を防げるのではと考え、取り組んでいます。また、食育フェスについてですが、今年度は本所歯科医師会も参加してくださいました。大西委員が苦勞をされて、ポスターも作成したと伺っています。今後とも本所歯科医師会と向島歯科医師会共に、歯科医療で街づくりを食育の中で一緒に頑張っていきたいと思っています。

#### **佐伯委員長**

ありがとうございます。最後に、人づくりセミナーを経て、すみだ食育 good ネットは現在、動画を作成しております。出来ましたらまたお伝えします。事務局からもお知らせはありますか。

### 事務局

お配りしました、チラシをご覧ください。2月11日の食育シンポジウムについて情報提供いたします。墨田区も後援として入っており、この推進会議の委員でもある米倉委員が講師としてご登壇されます。

### 佐伯委員長

以上で報告・議事の進行を終わらせていただきます。皆さまご協力いただき、ありがとうございました。それでは、事務局にお戻し致します。

### 事務局

**4 閉会** この委員会の委員の任期は2年間となっており、来年度も引き続き継続する形となっております。次回の日程調整については、担当より時期が来ましたらご連絡させていただきます。本日お伺いできなかったご意見につきましては、資料10の「ご意見・ご質問シート」にご記入いただき、2月10日(金)までにご返送いただきますようお願い致します。それではこれで令和4年度第2回すみだ食育推進会議を閉会させていただきます。皆さん、本日は長時間にわたり誠にありがとうございました。